

講義録レポート

講義録コード 06-13-9-101-15

講 座	社会保険労務士	テーマ	『一般常識セミナー』 ガイダンス
目標年	2013年合格目標		
コース	直前対策プレセミナー	回 数	1 回
用 途	☒ 個別VTR ☐ テープレクチャー ☐ 集合ビデオ ☐ Web通信 ☐ DL通信 ☐ DVD通信 ☐ カセット通信 ☐ 資料通信		

講師名	高橋 比沙子 先生	講義録 枚数	1 枚 ※レポート 含まず
		配布 レジュメ	1 枚

配布教材	・レジュメ (1枚)
備考	

社 労 士 講義録

科 目

「一般常識セミナー」
ガイダンスコ
ー
ス

無料公開セミナー

回
数

/

配
布
物

★ミニテスト：あり [

] なし

★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説

講
師高橋
比沙子

★実力テスト：あり [

] なし

★その他のレジュメ [

]

◇配布物なし

先生

テキスト
ページ

黒 板 内 容

(学習のポイント)

(1) 法規優先の学習

↓

法規 その他
8 : ②

(2) 問題の解き方の習得

(セミナーの概要)

自書

<ポイント> ストーリーをつかむ

<過去→現在→将来>

統計

<ポイント> 傾向をつかむ

一般常識セミナー レジюме

1. 一般常識セミナーの内容《(テキスト)(演習編)》と目的

労一

白書対策

労働政策→主要動向の把握

労働経済→
・変動した数値の把握
・基本数値の確認

労働法規

目的条文等確認→選択対策

労務管理

基本知識の確認→選択・択一対策

社一

白書対策

- ・年金制度
- ・医療制度
- ・介護保険

白書の視点で各制度をみる→法律のより深い理解

社会保険法規

目的条文等確認→選択対策

社会保険の沿革→

- ・基本知識の確認
- ・法規の理解

2. 平成 24 年度本試験択一問題 (一般常識)

〈問 5〉労働時間等に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

なお、本問は、「平成 23 年就労条件総合調査(厚生労働省)」を参照しており、当該調査における用語及び統計等を使用している。

- A 企業規模計の年次有給休暇取得率は 50%を下回っており、企業規模別でみると、1,000 人以上規模の企業の方が 30～99 人規模の企業よりも高くなっている。
- B 完全週休二日制を採用している企業は全体の約 4 割であるが、企業規模が小さくなるほど採用割合が低くなっている。
- C 何らかの形で変形労働時間制を採用している企業割合は全体で 5 割強となっており、これを産業別にみると、「鉱業、採石業、砂利採取業」、「運輸業、郵便業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「製造業」などの採用割合が高くなっている。
- D みなし労働時間制を採用している企業の割合は全体では約 1 割だが、企業規模が大きくなるほど採用している企業の割合が高くなる傾向がみられる。
- E 長時間労働を是正する取組が進んだ結果、平成 20 年以降の所定労働時間は、日単位でみても、週単位でみても、短くなってきている。(×正解肢)